

授業科目	高次脳機能障害Ⅲ（臨床）				
担当者	森岡悦子・中谷謙・圓越広嗣				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

本講義では、医学的情報と高次脳機能の評価で得られた結果をもとに障害像をとらえ、障害機序に沿ったリハビリテーションプログラムを立案するための知識を修得する。

■ 到達目標

1. 医学的情報と検査結果から、高次脳機能障害の障害機序を論理的に考察することができる。
2. 障害機序に基づき、適切なリハビリテーションプログラムを立案することができる。

■ 授業計画

- 第1回 高次脳機能障害のリハビリテーション（森岡）
- 第2回 記憶障害の評価の解釈、症状のまとめ（森岡）
- 第3回 記憶障害のリハビリテーション（森岡）
- 第4回 半側空間無視の評価とリハビリテーション（中谷）
- 第5回 遂行機能の評価（BADS）の実施手順の理解（圓越）
- 第6回 遂行機能の評価（BADS）の解釈、症状のまとめ（圓越）
- 第7回 遂行機能の評価とリハビリテーション（中谷）
- 第8回 認知症の病型別症状と関わり方（森岡）

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義中に重要箇所を確認するので、よく復習すること。

■ 教科書

書 名：高次脳機能障害学 第2版
 著者名：石合純夫
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

書 名：よくわかる失語症のセラピーと認知リハビリテーション
 著者名：編集：鹿島晴雄、大東祥孝、種村純
 出版社：永井書店

■ 留意事項

授業の復習を行うこと。

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

症状の捉え方、リハビリテーションの進め方を理解すること。